

視察研修派遣 報告

1 視察を行った館名

くまもと森都心プラザ図書館（熊本市），菊池市中央図書館（菊池市），八代市立図書館（八代市）

2 期間・期日

令和5年1月20日（金）～1月21日（土）

3 派遣者の所属・氏名

いちき串木野市立図書館 横手 朋子

4 研修の目的

図書館運営の先進地を視察して，利用促進に繋がる運営を学びたい。

5 研修内容

訪問先には，事前に「利用促進について実施されていること」，「他との連携について（行政機関，地域団体，施設，民間事業所等）」，「子どもの読書活動推進について」等の質問をお送りし，館内の説明を受けながら，展示や，配架等利用促進に繋がる様々な工夫を学びました。また，他の機関との連携により，図書館の活用幅の広さを再認識しました。

6 所見

本市の図書館は，昭和58年に文化センターとの併設館として開館以来，基本的にはほとんど変わらない運営を行ってきております。昨今取り上げられているスタイリッシュな図書館とは程遠く，図書館本来の役割や機能は新しい図書館でも古い図書館でも変わらないと言えども，電子書籍やデータベース等の更なる活用等，進化させていかなければ，利用者のニーズに答えられなくなっていくことを，日々感じております。情報をより正確により早く提供できるシステムの構築も必要であるという認識もしており，そのようなサービスが提供できたら，利用者の幅も広がるのではないかと思います。今回の訪問先は何処も利用者のニーズに寄り添い，それ以上の情報収集と発信を行うことで，図書館が生活の中で必要なものとして位置づけられていると感じました。財政規模を言い訳に現状維持でやり過ごしては魅力ある図書館にはならないと改めて思いました。角度を変えて見直せば，自館でもできることがあることに気づかせてもらえ，自分にとっては新たな未来予想図を描くように，あれもこれもと構想が浮かんでくる刺激ある研修でした。